学校法人 東筑紫学園
九州栄養福祉大学
Kyushu Nutrition Welfare University

【リハビリテーション学部　作業療法学科】

佐野（サノ）　幹剛（ヨシタケ）　SANO Yoshitake　　小倉南区キャンパス教務部長・教授

所　　属	九州栄養福祉大学　　リハビリテーション学部　　作業療法学科
担当科目	〔リハビリテーション学部 理学療法学科、作業療法学科〕 ・食と農園 ・キャリア教育 ・園芸療法の基礎 ・園芸療法実習 〔リハビリテーション学部 作業療法学科〕 ・スタートアップ教育Ⅰ・Ⅱ ・人間発達学 ・作業療法ゼミナールⅠ・Ⅱ ・発達期作業療法評価演習 ・発達期作業療法演習Ⅰ・Ⅱ ・作業療法研究法 ・臨床作業療法演習 ・作業療法基礎演習 ・作業療法専門演習 ・作業療法総合研究 ・地域マネジメント演習 ・臨床実習Ⅱ、臨床実習Ⅲ、臨床実習Ⅳ、臨床実習Ⅴ 〔食物栄養学部 食物栄養学科〕 ・リハビリテーション概論 ・栄養士のための農園演習 〔九州栄養福祉大学 大学院 健康科学研究科〕 ・小児リハビリテーション支援特論Ⅰ、小児リハビリテーション支援特論Ⅱ ・健康科学特別講義Ⅰ、健康科学特別講義Ⅱ ・健康科学研究法特論講義 ・健康科学研究法特論演習 ・地域活動支援特論Ⅰ ・特別研究Ⅰ、特別研究Ⅱ
専門分野	■ 発達障害作業療法 ■ 特別支援教育 ■ 地域支援 ■ 家族支援
最終学歴	福岡県立大学大学院 人間社会学研究科
学　　位	修士　（生涯発達）
職　　歴	社会福祉法人別府発達医療センター（旧別府整肢園）　（昭和62（1987）年4月～平成6（1994）年12月） 労働福祉事業団九州リハビリテーション大学校作業療法学科講師　（平成7（1995）年1月～平成16（2004）年3月） 専門学校九州リハビリテーション大学校作業療法学科講師　（平成16（2004）年4月～平成19（2007）年3月） 専門学校九州リハビリテーション大学校作業療法学科准教授　（平成19（2007）年4月～平成27（2015）年3月） 九州栄養福祉大学リハビリテーション学部作業療法学科准教授　（平成24（2012）年4月～平成27（2015）年3月） 九州栄養福祉大学小倉南区キャンパス教務課長　（平成24（2012）年4月～令和6年

	(2024)年3月) 九州栄養福祉大学農園長 (平成24(2012)年6月～現在に至る) 九州栄養福祉大学リハビリテーション学部作業療法学科教授 (平成27(2015)年4月～現在に至る) 九州栄養福祉大学健康科学研究科教授 (平成31(2019)年4月～現在に至る) 九州栄養福祉大学小倉南区キャンパス教務部長 (平成31(2019)年4月～現在に至る) 学校法人東筑紫学園評議員 (令和2(2020)年4月～現在に至る) 学校法人東筑紫学園理事 (令和3(2021)年4月～現在に至る)
教育上の業績	○別府発達医療センターにて作業療法実習生の指導 (昭和62(1987)年～平成6(1994)年12月) ○日本作業療法士協会主催生涯教育講座 発達障害分野の講師(平成 16(2004)年～平成 30(2018)年)
主な研究活動	【学術論文】
	1.「臨床実習における学生の実習態度と精神的回復力との関連性」:(九州栄養福祉大学研究紀要、第15巻、2018.12)
	(概要) 精神的回復力を高群と低群で比較したところ、「意欲･注意力の低下」因子と実習態度得点に有意差が認められた。精神的回復力はネガティブな実習態度の緩衝効果があり、教員は学生に対して精神的回復力を高める教育的支援の必要性が示唆された。
	2.「母子保健事業における地域作業療法の実践と課題」:(九州栄養福祉大学研究紀要、第16巻、2019.12)
	(概要) 筆者の母子保健事業での実績を整理し、個別支援と家族支援の概要及び作業療法士の態度や役割について提言を示した。母子保健事業に作業療法が携わる法的根拠を挙げ、フィールドでの実践を報告すると共に他職種連携及びグレーゾーンの子どもとその家族の支援について考察した。
	3.「手の巧緻性に関する発達とその評価~手内操作の評価法の紹介~」:(九州栄養福祉大学研究紀要、第17巻、2020.12)
	(概要) 手の機能的スキルとして巧緻性に焦点化し、その発達と評価のポイントについて文献的考察をするとともに手の巧緻性評価について検討した。手の巧緻性の発達は、線引き課題やペグ課題、糸巻き課題、ボタンかけ課題、箸操作課題、ビーズ通し課題、ひも結び課題などを用いた評価において検証され、3歳から4歳、6歳までに急激に変化し、その後は緩やかに伸びていくことが確認された。手内操作の4つの評価課題は、手の巧緻性の機能的要素を検出できる評価手段と考えられた。
	4.「園芸療法の現状とその実用的効果に関する文献レビュー」:(九州栄養福祉大学研究紀要、第18巻、2021.12)
	(概要) リハ学部では園芸療法士過程において理学療法士・作業療法士の専門科目以外に「食と農園」「ガーデニング」「園芸療法実習」「園芸療法概論」「園芸療法の基礎」の演習・実習・講義科目が配置されている。園芸療法の現状とその実用的効果について国内、海外の主要な論文を参考に文献的検討を行った。受講生は、日本や海外での現状を理解することで園芸療法に一層興味関心を持って受講できるものと考えている。
	5.「母子保健事業における発達相談での保護者支援について」:(九州栄養福祉大学研究紀要、第19巻、2022.12)
	(概要) 母子保健事業における発達相談において、これまでの経験をもとに、保護者の個性をタイプ別に示し、来談の目的、保護者の心理状況、支援の方法、保護者の変化について、これまでの実践を整理し、文献を通して検討考察する。
	6.「障害のある子どものためのおもちゃ操作に対する実践的アイデアとサポート」:(九州栄養福祉大学研究紀要、第21巻、2024.12)
	(概要)

	障害を持つ子どもに対して支援テクノロジーを用いたおもちゃ操作に対するアイディアを紹介するとともにサポートに関して検討した。	
	7.「乳児の粗大運動発達過程をベースにした発達支援のポイント」:（九州栄養福祉大学研究紀要、第21巻、2024.12） （概要） 乳児の粗大運動発達過程を明らかにしながら運動発達に課題のある乳幼児に対する発達支援について考察する。	
主な社会活動	・福岡県田川保健福祉事務所発達相談員	（平成10（1998）年4月～現在に至る）
	・田川市保健センター発達相談員	（平成11（1999）年4月～現在に至る）
	・北九州市介護認定審査会審査委員	（平成11（1999）年4月～現在に至る）
所　属　学　会	日本作業療法士協会 日本発達心理学会 日本臨床発達心理士会	
受　　賞　　歴	功労賞(北九州市)	（平成25(2013)年2月）

学校法人 東筑紫学園
九州栄養福祉大学
Kyushu Nutrition Welfare University

四元（ヨツモト） 孝道（タカミチ）　YOTSUMOTO Takamichi　作業療法学科長・教授

所　　属	九州栄養福祉大学　リハビリテーション学部　作業療法学科
担 当 科 目	〔リハビリテーション学部 作業療法学科〕 ・リハビリテーション概論、作業療法ゼミナールⅠ・Ⅱ、作業療法研究法、作業療法総合研究 ・作業療法概論、身体機能作業療法評価演習Ⅰ、高次脳機能作業療法評価演習 ・高次脳機能作業療法学、地域作業療法学、運動器疾患作業療法学、内部疾患作業療法学 ・作業療法管理学、臨床作業療法学演習、作業療法基礎演習・専門演習 ・臨床実習Ⅰ～Ⅴ
専 門 分 野	■　身体障害作業療法 ■　高次脳機能障害 ■　ICT・ロボット
最 終 学 歴	鹿児島大学大学院　保健学研究科博士後期課程単位取得後退学
学　　位	修士（保健学）
職　　歴	玉昌会 加治木温泉病院・高田病院　（平成 11(1999)年 4 月～平成 23(2011)年 8 月） 神村学園専修学校 作業療法学科 教員　（平成 23(2011)年 9 月～平成 26(2014)年 3 月） 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 講師 （平成 26(2014)年 4 月～平成 29(2017)年 3 月） 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 准教授 （平成 29(2017)年 4 月～令和 2(2020)年 3 月） 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 教授 （令和 2(2020)年 4 月～現在に至る） 九州栄養福祉大学 小倉南区キャンパス学生部 学生指導課指導主事・教務部教務課指導主事 （令和 3(2021)年 4 月～ 令和 5（2023）年 3 月） 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科　学科長 （令和 5（2023）年 4 月～現在に至る）
教育上の業績	○神村学園医療福祉専門学校作業療法学科　非常勤講師　（平成 14(2002)年 4 月）
主な研究活動	【学術論文】 1. T.Yotsumoto, K.Hiroshige, A.Inomoto, M.Fuchi, S.Takahashi： **Toward the development of a sitting position training system** （Proceedings of Life Engineering Symposium　：19-23 , 2019） 2. 四元孝道、渕雅子、井元淳、廣滋恵一： **地域域高齢者の認知機能検査と身体機能検査の関連性** （九州栄養福祉大学紀要 16：83-90, 2019） 3. 四元孝道、小川修、宮田浩紀、小牟田尚美、渕雅子： **認知症予防を中心とした健康教室の取り組み** （九州栄養福祉大学紀要 16：91-98, 2019）
	【学会発表】 1. T.Yotsumoto, K.Hiroshige, A.Inomoto, M.Fuchi, S.Takahashi： **Toward the development of a sitting position training system** SICE Life Engineering Symposium 2019 and ECTI Biomedical Engineering（2019.8） 2. 四元孝道、渕雅子、井元淳、廣滋恵一： **地域高齢者の 認知機能検査と身体機能検査との 関連性における予備的研究** 第 53 回　日本作業療法学会（2019.9） 3. 四元孝道、井元淳、渕雅子： **勤労者の年代別における注意検査と身体機能検査の検討** 第 43 回　日本高次脳機能障害学会学術総会（2019.11）
主な社会活動	・鹿児島高次脳機能障害者支援推進委員　（平成 17(2005)年～平成 23(2011)年） ・一般社団法人鹿児島県作業療法士会理事　（平成 19(2007)年～平成 23(2011)年）

	・北九州守恒地区認知症予防教室講師　　（平成 29(2017)年～令和 2(2020)年）
所　属　学　会	一般社団法人日本作業療法士協会 （認定作業療法士・専門作業療法士（高次脳効能障害） 日本高次脳機能障害学会 日本神経心理学会 日本リハビリテーション工学協会 日本職業・災害医学会

学校法人 東筑紫学園
九州栄養福祉大学
Kyushu Nutrition Welfare University

村田 奈保子（ムラタ ナホコ） MURATA Nahoko 教授

所　　属	九州栄養福祉大学　　リハビリテーション学部　　作業療法学科
担 当 科 目	〔リハビリテーション学部 作業療法学科〕 ・スタートアップ教育Ⅰ・スタートアップ教育Ⅱ ・医療人のための科学 ・基礎作業演習Ⅰ ・基礎作業実習 ・作業療法ゼミナールⅠ、作業療法ゼミナールⅡ ・生活機能評価 ・高齢期作業療法演習 ・日常生活活動支援 ・臨床作業療法演習 ・作業療法基礎演習 ・作業療法専門演習 ・作業療法研究法 ・福祉住環境演習 ・作業療法総合研究 ・臨床実習Ⅰ、臨床実習Ⅱ、臨床実習Ⅲ、臨床実習Ⅳ、臨床実習Ⅴ 〔東筑紫短期大学　専攻科　（介護福祉専攻）〕 ・福祉住環境論 ・
専 門 分 野	■　高齢期作業療法 ■　身体障害作業療法 ■　高次脳機能分野
最 終 学 歴	鳥取大学・大学院医学系研究科博士課程後期　　機能再生医科学専攻　　博士課程単位取得退学
学　　位	修士（再生医科学）
職　　歴	高邦会 高木病院（作業療法室開設）作業療法士　（1988年4月～1990年3月） 高邦会 柳川リハビリテーション病院（作業療法室開設）作業療法室副室長　（1990年4月～1991年3月） 介護老人保健施設しょうぶ苑（リハビリテーション室開設）作業療法士　（1991年4月～1997年2月） 鹿児島医療技術専門学校 作業療法学科専任教員　（1997年3月～1999年9月） メディカルカレッジ青照館開設準備室 作業療法学科専任教員　（1999年10月～2001年9月） メディカルカレッジ青照館　作業療法学科非常勤講師　（2001年10月～2002年2月） 日本メディカル専門学校作業療法学科専任教員　（2003年2月～2005年3月） 松江総合医療専門学校作業療法士科専任教員・学科長　（2005年4月～2014年7月） 神戸総合医療専門学校作業療法士科専任教員　（2014年8月～2015年3月） 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科講師　（2015年4月～2017年3月） 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科准教授　（2017年4月～2020年3月） 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科教授　（2020年4月～現在に至る）
教育上の業績	○国試対策におけるグループ学習の導入学習として、グループディスカッションの効果の体験学習を実施 ○臨床実習対策として、「疾患別ノート」の作成と学習支援を実施 ○国家試験対策において、国家試験対策スケジュールの管理や進捗状況の把握、学内模試・学外模試の成績管理を徹底し、特に学内・学外模試実施後は当日中に結果を本人に返却し、苦手科目

	や学習方法についてフィードバックを行った。 ○東筑紫短期大学専攻科における非常勤講師「バリアフリー論」
	○東筑紫短期大学専攻科における非常勤講師「福祉住環境論」
主な研究活動	【学術論文】
	1. 「視覚野損傷後の回復における視覚入力の影響」 （修士論文）鳥取大学大学院医学系研究科
	（概要）成熟したラットの大脳皮質（一次視覚野）を興奮性神経毒により損傷し、損傷部位およびその周辺領域の経過について、視覚入力がおよぼす影響を調べた。
	2. 「作業療法教育に必要な指導観（第１報）－専門学校と大学の比較－」 （九州栄養福祉大学研究紀要 12．105－114，2015）
	（概要）専門学校から大学へ移行後の入学生の変化について調査し、変化点を明確化することで、学生観の変化について検討し、指導観について考察した。
	3. 「作業療法教育に必要な指導観（第２報）－専門教育の中でのアクティブラーニングの活用について－」 （九州栄養福祉大学研究紀要 13．265－273，2016）
	（概要）本学作業療法学科の専門教育の中でのアクティブラーニングの活用度について調査し、作業療法教育に必要な指導観について考察した。
	4. 「作業療法教育に必要な指導観（第３報）－アクティブラーニングの活用と効果－」 （九州栄養福祉大学研究紀要 14．207－217，2017）
	（概要）本学作業療法学科の専門教育におけるアクティブラーニングについて調査し、各科目の授業評価を基にアクティブラーニングの活用と効果について検討した。
	5. 「国家試験対策とクラスの凝集性－ピアサポーターの育成－」 （九州栄養福祉大学研究紀要 14．195－205，2017）
	（概要）第 52 回作業療法士国家試験（現役 100%合格）対策の取り組みについての振り返りより、「クラスづくり」としての学生の凝集性とピアサポーターの育成について検討した。
	6.
	（概要）
	【学会発表】
	1. 「当院作業療法対象患者の入院までの経過調査」（共同） 〈主　　催〉第 84 回熊本リハビリテーション研究会 〈開 催 場 所〉熊本 〈開催年月日〉1990 年 12 月
	（概要）リハビリテーション病院作業療法対象患者について、入院までの経過を調査し長期入院の原因について検討した。
	2. 心理的評価 MAS と他の評価との関連について」（共同） 〈主　　催〉第 85 回熊本リハビリテーション研究会 〈開 催 場 所〉熊本 〈開催年月日〉1991 年 4 月
	（概要）リハビリテーション病院作業療法対象患者に心理的評価 MAS を実施し、ADL 評価を含めた他の評価との関連について検討した。
	3. リハ病院入院患者の MAS と家族の受け入れ状況との関連について」（共同） 〈主　　催〉第 25 回日本作業療法学会 〈開 催 場 所〉北海道 〈開催年月日〉1991 年 6 月
	（概要）リハビリテーション病院作業療法対象患者に心理的評価 MAS を実施し、家族の受け入れ状況との関連について検討した。
	4. 「Effects of visual inputs on recovery after excitotoxic lesion of visual cortex」（筆頭） 〈主　　催〉第 85 回日本生理学会大会

	〈開 催 場 所〉 東京 〈開催年月日〉 2008 年 3 月 26 日
	（概要）興奮性神経毒により成熟した大脳皮質（一次視覚野）を損傷し、視覚入力の有無による損傷領域の細胞構築と損傷部分の周辺領域における神経活動の変化について検討した。
	5. 「脳損傷後の回復における感覚入力の影響」（筆頭） 〈主　　催〉 第 42 回日本作業療法学会 〈開 催 場 所〉 〈開催年月日〉 2008 年 6 月 21 日
	（概要）成熟した大脳皮質に脳卒中モデルとされる興奮性神経細胞死を引き起こし、感覚入力によって生じる神経活動が損傷部位での機能回復に与える影響について検討した。
	6. 専門学校から大学への移行に伴う入学生の変化」（筆頭） 〈主　　催〉 第 29 回教育研究大会・教員研修会 〈開 催 場 所〉 香川 〈開催年月日〉 2016 年 8 月 19 日
	（概要）専門学校から大学への変化点を明確化するために入学生の変化について調査し、退学率や国家試験合格率の改善について検討した。
	7. アクティブラーニングの活用と効果（学生はアクティブになったのか）」（筆頭） 〈主　　催〉 第 31 回教育研究大会・教員研修会 〈開 催 場 所〉 北海道 〈開催年月日〉 2018 年 8 月 25 日
	（概要）専門教育の中でのアクティブラーニングの活用度を調査し、各科目の教員の学生評価と学生の自己評価を比較することでアクティブラーニングの効果について検討した。
	8. 〈主　　催〉 〈開 催 場 所〉 〈開催年月日〉 〇〇〇〇年〇月〇日
	（概要）
主な社会活動	・ 佐賀県作業療法士会　学術部理事　（1993 年 4 月） ・佐賀県立衛生専門学院保健助産科非常勤講師　（1993 年 6 月） ・佐賀県立総合看護学院保健学科非常勤講師　（1994 年 6 月） ・佐賀県立総合看護学院保健学科非常勤講師　（1995 年 6 月） ・鹿児島県作業療法士会　監事　（1996 年 4 月） ・日本作業療法士協会教育部　教育関係資料収集委員会委員　（1996 年 8 月） ・鹿児島県母子寡婦福祉連合会主催ヘルパー3 級講習会講師　（1998 年 7 月） ・第 20 回九州理学療法士・作業療法士合同学会　教育セッション座長　（1998 年 11 月） ・鹿児島県母子寡婦福祉連合会主催ヘルパー2 級講習会講師　（1999 年 7 月） ・日本作業療法士協会教育部　部員　（1999 年 8 月） ・第 21 回九州理学療法士・作業療法士合同学会準備委員会総務副部長　（1999 年 11 月） ・島根県作業療法士会現職者研修会（旧新人教育プログラム）「研究法」講師　（2006 年 11 月） 島根県社会福祉協議会主催ガイドヘルパー養成研修会　講師　（2006 年 12 月）
	島根県社会福祉協議会主催ガイドヘルパー養成研修会　講師　（2007 年 12 月）
	島根県社会福祉協議会主催ガイドヘルパー養成研修会　講師　（2008 年 12 月）
	島根県作業療法士会　監事　（2010 年 4 月）

	島根県作業療法士会現職者研修会「職業倫理」講師 (2010 年 5 月)
	東筑紫短期大学専攻科「バリアフリー論」　非常勤講師 (2017 年 1 月)
	全国リハビリテーション学校協会学術委員会「リハビリテーション教育研究」　査読委員 (2019 年 10 月)
	・東筑紫短期大学専攻科「福祉住環境論」　非常勤講師 (2022 年 4 月～現在)
所　属　学　会	日本作業療法士協会 (1988 年 4 月～現在に至る) 福岡県作業療法協会 (2015 年 4 月～現在に至る)
受　　賞　　歴	なし

学校法人 東筑紫学園
九州栄養福祉大学
Kyushu Nutrition Welfare University

青山（アオヤマ） 克実（カツミ） KASTUMI Aoyama 教授

所　　属	九州栄養福祉大学　リハビリテーション学部　作業療法学科
担 当 科 目	〔リハビリテーション学部 作業療法学科〕 ・作業療法基礎演習、作業療法専門演習 ・作業療法学概論 ・基礎作業演習Ⅱ ・精神疾患作業療法学Ⅰ、Ⅱ ・精神機能作業療法評価演習 ・作業療法評価学 ・生活機能評価 ・地域作業療法学 ・臨床作業療法学演習 ・臨床実習Ⅰ～Ⅴ ・スタートアップ教育Ⅰ、Ⅱ ・作業療法ゼミナールⅠ、Ⅱ ・作業療法研究法 ・作業療法総合研究
専 門 分 野	■　作業科学および作業療法理論 ■　精神障害分野 ■　高齢期分野
最 終 学 歴	県立広島大学大学院　総合科学研究科保健福祉学専攻 総合リハビリテーション分野作業遂行障害学領域修了
学　　位	修士（保健福祉学）
職　　歴	医療法人日明会 日明病院　（平成6(1994)年４月～平成14(2002)年３月） 学校法人麻生塾 麻生リハビリテーション専門学校 専任教員 （平成14(2002)年４月～平成25(2013)年３月） 学校法人麻生塾 専門学校麻生リハビリテーション大学校 専任教員 （平成25(2013)年４月～令和2(2020)年３月） 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部作業療法学科 准教授 （令和2(2020)年４月～令和６（2024）年３月） 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部作業療法学科 准教授 （令和6(2024)年４月～現在）
教育上の業績	○作業療法臨床実習指導者（平成10(1998)年～平成14(2002)年） 精神科単科病院において，作業療法士養成校４校の学生を受け入れ，臨床実習指導に６年間携わった。 ○学校法人麻生塾 麻生リハビリテーション専門学校 専任教員 （平成14(2002)年４月～平成25(2013)年３月） ○学校法人麻生塾 専門学校麻生リハビリテーション大学校 専任教員 （平成25(2013)年４月～令和2(2020)年３月）
	【作成した教材】
	○e-learning コンテンツ「臨床実習支援プログラム～事例演習」作成（平成21年度文部科学省委託事業） （平成22(2010)年３月31日） ○「精神領域の作業療法」(中央法規)　（平成22(2010)年７月１日） ○「日本作業療法士協会 作業療法マニュアル精神障害の急性期作業療法と退院促進プログラム」 （平成23(2011)年３月31日） ○「事例でわかる人間作業モデル」(協同医書出版)　（平成27(2015)年９月15日） ○「精神領域の作業療法　第２版」(協同医書)　（平成28(2016)年２月20日）
主な研究活動	【著書】
	1.「精神領域の作業療法」中央法規出版（共著）(2010.7.1)〔再掲〕

	石井良和、京極真、長雄眞一郎、青山克実(分担執筆)
	2.「日本作業療法士協会　作業療法マニュアル 精神障害の急性期作業療法と退院促進プログラム」日本作業療法士協会（共著）(2011.3.31)〔再掲〕 小林正義、香山明美、酒井道代、岩永竜一郎、青山克実(分担執筆)、岡本利子
	3.「事例でわかる人間作業モデル」共同医書出版（共著）(2015.9.15)〔再掲〕 山田 孝 編著、青山克実 分担執筆
	4.「精神領域の作業療法 第2版」中央法規出版（共著）(2016.2.20)〔再掲〕 石井良和、京極真、長雄眞一郎 編著、青山克実 分担執筆
	5. 臨床精神科作業療法理論，実践，効果検証(2023.4.3)協同医書 大丸幸、中山広宣・編著、青山克実 分担執筆
	6. 「作業に焦点を当てた精神科作業療法」シービーアール(共著)(2024.4.15) 南庄一郎、木納潤一・編著、青山克実 分担執筆
	【学術論文】
	1.「長期入院の統合失調症に対するプログラム計画のための文献レビュー」（共著） 青山克実、山田 孝（作業行動研究　2010.12）
	2.「何したらいいかわからない」と語る統合失調症者に対する地域生活移行支援 ～人間作業モデルを用いた介入～」（共著） 青山克実、山田 孝（作業行動研究　2011.12）
	3.「クライエントの作業に焦点をあてた作業療法教育の導入」（共著） 青山克実、山田 孝、近藤 敏（作業行動研究　2013.12）（日本作業行動学会　平成25年度優秀論文）
	4.「軽度アルツハイマー型認知症高齢者に対する『認知症高齢者の絵カード評価法』を用いた作業療法の有効性」（共著） 青山克実、山田 孝（2014.3）（日本作業行動学会　平成25年度優秀論文）
	5.「AMPSにおける統合失調症者の作業遂行技能の特徴について」（共著） 青山克実、久野真矢、老川良輔（2014.6）
	6.「長期入院の統合失調症の生活様式と健康関連QOLの特徴に関する研究 ～プログラム開発のためのニーズ調査～」（共著） 青山克実、山田 孝（作業行動研究　2016.9）
	7.「長期入院の統合失調症の生活様式と健康関連QOLの特徴に関する研究 ～プログラム開発のためのニーズ調査～」（共著） 青山克実、山田 孝（作業行動研究 2016.12）
	8.「統合失調症者の作業遂行技能と認知機能の関係について–AMPSとBACS - Jを用いて–予備的調査」（共著） 青山克実、久野真矢　（作業療法　2017.3）
	9.「作業バランスの不均衡を起こした統合失調症男性への就労生活支援 ～ケア会議を通した作業バランス自己診断の活用～」（単著） 青山克実（作業療法　2018.4）
	10.「長期入院統合失調症者に対する作業療法プログラム計画の効果 ～3事例による予備的研究～」（共著） 青山克実、山田 孝、岸和香奈　（作業行動研究　2018.6）
	11.「生活行為向上マネジメントを用いた統合失調症の男性への地域生活移行支援」（共著） 青山克実、豊嶋明日美、小林暉尚（作業療法　2019.2）
	12.「作業に焦点をあてた作業療法自己効力感尺度開発に向けた文献レビュー ～職業的アイデンティティと自己効力感に影響する要因～」（共著） 青山克実、山田 孝、安部剛敏、老川良輔（作業行動研究　2019.12）
	13. 作業に焦点をあてた作業療法実践の文献的探索 ~作業に焦点をあてた作業療法実践自己効力感尺度開発のために~（共著） 青山克実、山田 孝、安部剛敏、老川良輔（作業療法・福岡　2020.3）
	14.「作業に焦点を当てた作業療法実践自己効力感尺度」の開発 ~内容妥当性の検討~ 青山克実、山田 孝、安部剛敏、老川良輔（作業行動研究　2021.3）

15. MOHO の導入により祖父としての役割を再獲得した事例
〜孫へのプレゼント作りを通して〜（共著）
植田将広，青山克実（作業行動研究　2021. 9）

16. 統合失調症者の作業技能と認知機能障害－AMPS と BACS-J を用いて―
青山克実、久野真矢(作業療法ジャーナル　2021.4)

17. COVID-19 対策下における学生の生活様式の特徴と生活満足度〜作業バランスを通して〜
青山克実、長城晃一(九州栄養福祉大学研究紀要 18，2021)

18. 評価における観察のポイントと介入方法
青山　克実(臨床作業療法 NOVA18(4)，2021)

19.「生活史を反映させた人間作業モデルの作業療法介入によって，役割獲得と家族の理解につながった事例〜通所介護での認知症者に対するアプローチ〜」
髙木雄作,青山克実，山田孝(作業行動研究 25，2022)

20. 養成校における作業療法理論の教育(総説)
青山克実，老川良輔(作業行動研究 25(4)，2022)

21. 評価とアセスメントを生活支援に生かすポイント
青山克実(臨床作業療法 NOVA20(1)，2023

22. ACT スタッフの講義が作業療法学生のリカバリー志向性に与える影響
平澤勉，青山克実，深町晃次(九州栄養福祉大学紀要 19，2022)

23. 機能的グループモデルに基づく学内実習の学修効果：職業的アイデンティティと自己効力感の変化
青山克実，深町晃次，平澤勉(九州栄養福祉大学紀要 19，2022)

24. 精神科領域における集団作業療法の効果に関する文献レビュー
青山克実，石橋裕，山田孝(作業行動研究 27(2)，2023)

25. 精神科病院における集団作業療法の効果に関するスコーピングレビュー
青山克実，石橋裕，山田孝(九州栄養福祉大学紀要 20，2023)

26. 作業に焦点を当てた作業療法実践自己効力感尺度の開発〜信頼性・妥当性の検証〜
青山克実，石橋裕，老川良輔，山田孝(作業療法 43(3)，2024)

27. Relationship between respiratory sarcopenia and respiratory muscle weakness in community-dwelling older adults: A preliminary cross-sectional study
Atsushi Inomoto, Ryoko Kanzaki, Yuta Suzuki, Keiichi Hiroshige, Takamichi Yotsumoto, Yuko Yoshida, Kae Nakatou, Masaki Tokitoh, Junichi Kawakami, Tomohiko Nagano, Katsumi Aoyama, Takashi Hashimoto (Journal of Physical Therapy Science(10):603-608，2024)

28. 生活行為向上マネジメントに基づく臨床実習の学修効果〜MAXQDA を用いた質的分析〜
青山克実，四元孝道(九州栄養福祉大学研究紀要 (21):43-55，2024)

【学会発表】

1.「臨床実習における自己効力感の情報源と学生の対人認知に関する研究」（筆頭）
第 44 回 日本作業療法学会(2010)
青山克実、目野昭、渡辺みゆき、近藤昭彦

2.「入退院を繰り返す事例に対するエンパワメント支援について」（共同）
第 50 回 中・四国精神神経学会(2010)
重本友里恵、武田朋昭、二本樹一成、青山克実

3.「価値観を大切にすることで役割を獲得した症例について」（共同）
第 45 回 日本作業療法学会(2011)
佐々木玲奈、徳丸由美子、青山克実

4.「AMPS における統合失調症の作業遂行技能の特徴」（筆頭）
第 45 回 日本作業療法学会(2011)
青山克実、老川良輔

5.「作業療法がクライエントの健康状態に与える影響について」（共同）
第 45 回 日本作業療法学会(2011)
西野朱美、小野邦江、米原健太郎、青山克実

6.「統合失調症者の作業遂行技能と認知機能の関係について–AMPS と BACS - J を用いて–」（筆頭）
第 46 回 日本作業療法学会(2012)
青山克実

7.「長期入院の統合失調症に対するプログラム計画のための文献レビュー」（筆頭）
第 22 回 日本作業行動学会学術集会(2012)
青山克実、山田 孝

8.「作業に焦点をあてた作業療法教育の導入に関する研究」（筆頭）
第 47 回 日本作業療法学会(2013)
青山克実、近藤 敏

9. Occupational balance and subjective recognition to environment of the long-term hospitalized persons with schizophrenia.（筆頭）
第 16 回 世界作業療法士連盟大会(第 48 回日本作業療法学会) (2014)
青山克実、山田 孝

10.「作業的視点で関わり続けた 7 年間～統合失調症の男性に対する地域生活移行・継続支援」（筆頭）
第 25 回 日本作業行動学会学術集会(2014)
青山克実

11.「地域在住統合失調者の作業機能障害と環境要因の関係について」（筆頭）
第 49 回 日本作業療法学会(2015)
青山克実、籔脇健司、西野朱美

12.「超長期入院統合失調症者の生活様式と作業適応障害の特徴について」（筆頭）
第 26 回 日本作業行動学会学術集会(2015)
青山克実、山田 孝

13.「統合失調症の男性への地域生活移行の支援」（筆頭）
第 27 回 日本作業行動学会(2016)
青山克実、山田 孝、豊嶋明日美

14.「長期入院統合失調症者の生活様式と作業適応障害の特徴
～プログラム開発のためのニーズ調査～」（筆頭）
第 50 回 日本作業療法学会(2016)
青山克実、山田 孝

15.「長期入院の統合失調症者に対する認知症絵カード評価法を用いた介入の有用性」（筆頭）
第 21 回 福岡県作業療法学会(2017)
青山克実、山田 孝

16.「長期入院の統合失調症者に対する作業療法プログラムの効果～3 事例を通した予備的研究～」（筆頭）
第 27 回 日本作業行動学会(2017)
青山克実、山田 孝、岸和香奈

17.「長期入院統合失調症に対する作業療法プログラムの試行」（共同）
第 51 回 日本作業療法学会(2017)
岸和香奈、山田 孝、青山克実

18.「e-Learning における作業療法教育の効果に関する予備的研究
～作業療法評価に対する自己効力感～」（筆頭）
第 51 回 日本作業療法学会(2017)
青山克実

19.「学習方略がリハビリテーション専門基礎領域科目の成績に及ぼす影響」（共同）
第 51 回 日本作業療法学会(2017)
老川良輔、青山克実

20.「作業に焦点をあてた作業療法自己効力感尺度開発のための文献レビュー
～職業的アイデンティティと自己効力感に着目して～」（筆頭）
第 28 回 日本作業行動学会(2018)
青山克実、山田 孝、安部剛敏、老川良輔

21.「作業に焦点をあてた作業療法自己効力感尺度開発に向けた文献レビュー
～職業的アイデンティティと自己効力感に影響する要因～」（筆頭）
第 1 回 九州作業療法学会(2019)
青山克実、山田 孝、安部剛敏、老川良輔

22.「作業に焦点をあてた作業療法実践の文献的探索
-作業に焦点をあてた作業療法実践自己効力感尺度開発のために-」（筆頭）
第 29 回 日本作業行動学会学術集会(2019)
青山克実、山田 孝、安部剛敏、老川良輔

23. 「作業に焦点を当てた作業療法実践自己効力感尺度」の開発 ~内容妥当性の検討~
第 54 回 日本作業療法学会(2020)
青山克実、山田 孝、安部剛敏、老川良輔

24. 「退院へ漠然とした不安を抱えるクライエントが作業を通して強化された事例
～人間作業モデルを用いて～」
第 24 回 福岡県作業療法学会(2021)
後藤一樹、青山克実、山田 孝

25. 「COVID-19 対策下における学生の生活様式の特徴と生活満足度
～作業バランスを通して～」
九州作業療法学会 2021(2021)
青山 克実、長城晃一

26. 「役割獲得が行動・心理症状の軽減に至った症例」
九州作業療法学会 2021(2021)
福井 綾、青山克実、山田孝

27. 「作業バランスの改善が意志に影響を及ぼしたアプローチ」
九州作業療法学会 2021(2021)
山本 祐輔、青山克実、山田孝

28. 通所介護の活動が主観的健康感や生活意欲に与える影響
九州作業療法学会 2021(2021)
松岡　麻由子，青山　克実，石橋　裕，田中　聡

29. 養成校における作業療法理論の教育
第 30 回日本作業行動学会学術集会(2021)
青山克実，老川良輔

30. 学内実習における学生の作業療法実践自己効力感の変化について- 精神分野における学内実習を通して-
第 55 回日本作業療法学会(2021)
青山　克実，深町晃次，平澤勉

31. 作業に焦点を当てた作業療法実践自己効力感尺度の開発～信頼性・妥当性の検証～
第 56 回日本作業療法学会(2022)
青山克実，老川良輔，石橋裕，山田孝

32. 精神科領域における集団作業療法の効果に関する文献レビュー
第 31 回日本作業行動学学術集会(2022)
青山克実，山田孝

33. 通所介護における作業療法介入に関する文献レビュー
第 31 回日本作業行動学学術集会(2022)
福井綾，青山克実，山田孝

34. 長期入院の統合失調症患者に意味のある作業を通して変化が見られた事例～長期入院統合失調症に対する作業療法プログラムを通して～
第 26 回福岡県作業療法学会(2023)
後藤菜摘，後藤一樹，青山克実

35. 意志の表出が困難なクライエントへの人間作業モデルを用いた介入により作業適応に向けた協業が促進した事例
第 26 回福岡県作業療法学会(2023)
釘宮咲紀，後藤一樹，青山克実，山田孝

36. 精神科病院における集団作業療法の効果に関するスコーピングレビュー
第 32 回日本作業行動学会学術集会(2023)
青山克実，石橋裕，山田孝

37. 作業に焦点を当てた業療法実践自己効力感に影響する情報源に関する研究～臨床実習を通した予備的研究～
第 57 回日本作業療法学会(2023)
青山克実，石橋裕，山田孝

38. 精神疾患をもつ人のサルコペニアおよびロコモティブシンドロームに対するリハビリテーション的介入に関するスコーピングレビュー
第 33 回日本作業行動学会学術集会
(青山克実，石橋裕，山田孝)

	39. Profiles of practices, attitudes, knowledge, and skills in occupational therapists' evidence-based practices: a descriptive cross-sectional study in Japan. 8th Asis Pacific Occupational Therapy Congress 2024 Katsumi Aoyama, Koichi Nagaki, Taketoshi Abe, Masataka Nakatsuru
	40. 生活行為向上マネジメントに基づく臨床実習の学修効果～MAXQDA を用いた質的分析～ 第 29 回日本作業療法教育学術大会(2024) 青山克実
	41. 脳梗塞により意欲が低下した症例が住み慣れた地域で暮らしつづけるための作業療法介入―MTDLP と VQ を活用した多職種連携介入について― 第 28 回福岡県作業療法学会(2025) 福井 綾，内賀 香保里，松田 礼，青山 克実
主な社会活動	・日本作業行動学会　人間作業モデル講習会　講師　（平成 25(2013)年 5 月～現在に至る） ・第 24 回日本作業行動学会学術集会　実行委員長　（平成 26(2014)年 8 月） ・東京都立大学大学院　人間健康科学研究科作業療法科学域　客員研究員 （令和 2 年(2020)4 月～現在に至る） ・第 29 回日本作業療法教育学会学術大会　実行委員長　（令和 6(2024)年 11 月） **【その他】** ・日本作業行動学会　代議員　（平成 25(2013)年 5 月～現在に至る） ・福岡県作業療法協会　教育部担当理事　（平成 28(2016)年 5 月～現在に至る） ・日本作業療法士協会　事例報告登録システム A 査読員　（平成 28(2016)年 4 月～現在に至る） ・日本作業療法学会　演題査読員　（平成 18(2006)年 4 月～現在に至る） ・九州作業療法学会　演題査読員　（平成 30(2018)年 4 月～現在に至る） ・厚労省指定　臨床実習指導者講習会　講師・世話人　（令和元(2021)年 4 月～現在に至る） ・学術誌「作業療法」第二査読者　（令和 3(2021)年 4 月～現在に至る）
所　属　学　会	日本作業療法士協会 福岡県作業療法協会 日本地域作業療法研究会 精神科作業療法協会 日本作業行動学会 CEPD(Cognitive Enhancement in Psychiatric Disorders)研究会 日本作業療法教育学会 日本作業科学研究会 日本保健科学学会
受　賞　歴	日本作業行動学会最優秀論文（研究論文）(筆頭筆者)　（平成 26(2014)年 8 月） 第 24 回福岡県作業療法学会　優秀演題賞(共同筆者)　（令和 3(2021)年 2 月） 九州作業療法学会 2022in 佐賀　優秀演題賞　（令和 4(2022)年 2 月） 第 26 回福岡県作業療法学会　最優秀演題賞(共同筆者)　（令和 5(2023)年 3 月）

学校法人 東筑紫学園
九州栄養福祉大学
Kyushu Nutrition Welfare University

深町（フカマチ） 晃次（コウジ）　FUKAMACHI Koji　准教授

所属	九州栄養福祉大学　リハビリテーション学部　作業療法学科
担当科目	〔東筑紫短期大学　介護専攻科〕 ・バリアフリー論 〔リハビリテーション学部　理学療法学科〕 ・園芸療法の基礎，園芸療法実習，ガーデニング 〔リハビリテーション学部　作業療法学科〕 ・精神疾患作業療法学Ⅱ ・基礎作業実習 ・認知症ケア支援 ・スタートアップ教育Ⅰ，スタートアップ教育Ⅱ ・作業療法ゼミナールⅠ，作業療法ゼミナールⅡ，作業療法研究法，作業療法総合研究 ・臨床作業療法演習，作業療法基礎演習，作業療法専門演習 ・臨床実習Ⅰ，臨床実習Ⅱ，臨床実習Ⅲ，臨床実習Ⅳ，臨床実習Ⅴ ・園芸療法の基礎，園芸療法実習，ガーデニング
専門分野	■精神障害系作業療法 ■基礎作業学 ■園芸療法
最終学歴	九州リハビリテーション大学校　作業療法学科　卒業
学位	専門士
職歴	福岡県精神保健センター　(1991年6月～1997年3月) 福岡県立遠賀病院　(1997年4月～2003年3月) 福岡県立精神医療センター　太宰府病院　(2003年4月～2005年3月) 九州リハビリテーション大学校 作業療法学科 助手　(2005年4月～2007年3月) 九州リハビリテーション大学校 作業療法学科 助教　(2007年4月～2011年3月) 九州リハビリテーション大学校 作業療法学科 講師　(2011年4月～2015年3月) 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 講師　(2013年4月～2016年3月) 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 准教授　(2016年4月～ 現在に至る)
教育上の業績	○「服部リハビリテーション技術全書第3版」第8章　レクリエーション　その他 ○「臨床精神科作業療法学」　(共著)
主な研究活動	【学術論文】 1. 司法精神科作業療法の卒前教育への取り組みと技術 ～覚せい剤事犯者処遇プログラム（更生保護法）の担当経験から （概要）司法精神科作業療法を卒前教育に組み入れてアクティブラーニングできるようになるために、覚せい剤事犯者プログラムについて報告した。 （共同執筆のため担当部分の抽出は不可能） 共同執筆者：大丸幸、長岡通生、本山美恵、深町晃次 2. 精神科リハビリテーションにおける保健医療福祉専門職連携 ～精神障害者の地域移行における多職種連携事例からの検証 （概要）専門職養成の基礎教育を行う保健医療福祉系の大学教育では、「多職種と協働するための力を育成する。」という観点から、事例を後方視的に振り返った。

	（共同執筆のため担当部分の抽出は不可能） 共同執筆者：大丸幸、深町晃次、小川修、平澤勉
	3. 就労継続支援施設利用の精神障害者の就労と生活に関する思い ～就労継続支援Ｂ型利用者への半構成インタビューによる質的研究～
	（概要）就労継続支援Ｂ型施設に通所している２名の利用者の施設利用における現状と将来への思いを半構成的面接にて調査した結果、【仕事を始めるまでの経緯】【仕事のやりがいやストレス】【仕事以外の変化】【将来の希望】の４つのカテゴリーが抽出された。 （共同執筆のため担当部分の抽出は不可能） 共同執筆者：深町晃次、小川修
	4.精神科デイケア利用者の体力、運動習慣、および作業に関するニーズの関係
	（概要）精神科デイケアを利用している地域在住精神障がい者の体力、運動習慣および作業に関するニーズを調査した。作業に関するニーズは、長時間運動群では「レジャー」に含まれる項目が多かった。 （共同執筆のため担当部分の抽出は不可能） 共同執筆者：平澤勉、大丸幸、深町晃次、小川修、平池雅也
【学会発表】	
	1. 日本作業療法士協会　老年期分野研修会（現職者選択研修会） 〈主　　催〉日本作業療法士協会 〈開 催 場 所〉麻生リハビリテーション大学校 〈開催年月日〉2012 年 1 月 21 日
	（概要）認知症に関する「家族機能の基本」というテーマで講義・演習を行った。
	2. 日本作業療法士協会　精神障害分野研修会（現職者選択研修会） 〈主　　催〉日本作業療法士協会 〈開 催 場 所〉北九州市ウェルとばた 〈開催年月日〉2019 年 7 月 28 日
	（概要）「精神障害作業療法の基礎知識」というテーマで講義・演習を行った。
	3. 日本作業療法士協会　精神障害分野研修会（現職者選択研修会） 〈主　　催〉日本作業療法士協会 〈開 催 場 所〉オンライン 〈開催年月日〉2023 年 7 月 2 日
	（概要）「精神障害作業療法の基礎知識」というテーマで講義・演習を行った。
	４．福岡県精神科病院協会全体研修会 〈主　　催〉福岡県精神科病院協会 〈開 催 場 所〉九州栄養福祉大学 〈開催年月日〉2025 年 5 月 10 日
	（概要）「司法作業療法の動向と園芸療法」のテーマで農福連携の取組も含めて講義を行った。
主な社会活動	・公益社団法人　福岡県作業療法協会　理事　（1997 年　4 月～現在に至る） ・福岡県立戸畑高等技術専門校　（2009 年　6 月～現在に至る） 介護福祉士実務者研修　講師 ・福岡県安全運転医療連絡協議会　幹事　（2020 年　4 月～現在に至る） ・北九州医療刑務所　機能向上作業　技術支援　（2021 年　7 月～現在に至る） ・日本司法作業療法学会　理事　（2022 年 10 月～現在に至る） ・認知症サポーター養成講座　講師　（2023 年 12 月～現在に至る） ・一般社団法人 Q-ACT　理事　（2025 年 6 月～）
所　属　学　会	日本作業療法学会　（1991 年　5 月～現在に至る） 福岡県作業療法学会　（1991 年　5 月～現在に至る）

	日本司法作業療法学会　（2023 年 12 月～現在に至る）
受　賞　歴	公益社団法人　福岡県作業療法協会　協会表彰　（2018 年 2 月）

学校法人 東筑紫学園
九州栄養福祉大学
Kyushu Nutrition Welfare University

吉岡 奈々（ヨシオカ ナナ） NANA Yoshioka 准教授

所　　属	九州栄養福祉大学　リハビリテーション学部　作業療法学科
担 当 科 目	〔リハビリテーション学部 作業療法学科〕 ・作業療法基礎演習,作業療法専門演習 ・作業療法管理学, 地域マネジメント演習 ・身体機能作業療法評価論演習Ⅰ ・身体機能作業療法評価論演習Ⅱ ・作業療法評価学 ・内部疾患作業療法学 ・運動器疾患作業療法学 ・手の機能とICT ・臨床実習Ⅰ, 臨床実習Ⅱ, 臨床実習Ⅲ,臨床実習Ⅳ,臨床実習Ⅴ, 臨床作業療法演習 ・スタートアップ教育Ⅰ,スタートアップ教育Ⅱ ・作業療法ゼミナールⅠ,作業療法ゼミナールⅡ,作業療法ゼミナールⅢ ・作業療法研究法
専 門 分 野	■　内部疾患の作業療法学（心臓・呼吸器疾患） ■　地域マネジメント ■　作業療法管理学 ■　心臓リハビリテーション指導士・呼吸ケア指導士 ■　日本パラスポーツ協会　公認　中級パラスポーツ指導員 ■　3学会合同呼吸療法認定士・ ■　認知症ケア専門士 ■　認定作業療法士 ■　福祉用具プランナー
最 終 学 歴	北九州市立大学大学院　マネジメント研究科修士課程修了
学　　位	修士（経営学）MBA
職　　歴	医療法人北九州病院 リハビリテーション部　（平成14(2002)年4月～平成16(2004)年3月） 財団法人三萩野病院 リハビリテーション室　（平成16(2004)年4月～平成18(2006)年7月） 国立病院機構関門医療センター リハビリテーション科部 （平成18(2006)年8月～平成24(2012)年3月） 九州旅客鉄道株式会社 JR九州病院 リハビリテーション室 （平成24(2012)年4月～令和2(2020)年3月） 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部作業療法学科 准教授 （令和2(2020)年4月～現在に至る）
教育上の業績	【臨床実習指導】 ・社）日本作業療法士協会作業療法士臨床実習指導者研修修了者（平成26年(2016)年3月） 関門医療センターなどで作業療法臨床実習生指導（平成18(2006)年～令和元(2019)年） 急性期病院において作業療法養成校6校を受け入れ,臨床実習指導に13年間携わった。
	【研修会講師・学会座長】 ・JR九州病院　平成30年度　研修会「認知症ケアの基礎」講師（平成31年（2018）年3月 ・柳川リハビリテーション学院平成30年度卒後研修会「高齢期肩関節疾患の作業療法」講師 （令和1(2019)年1月 ・(株) MAHALO研修会ナイトセミナー「モチベーションと行動変容」講師（令和1(2019)年5月 ・JR九州病院　平成31年度　研修会「認知症の現状とメカニズム」講師（令和1(2019)年6月 ・福岡県作業療法協会　研修会「心大血管作業療法の役割」講師（令和4(2022)年2月 ・北九州市年長者研修大学校周望学舎シニアカレッジ講師（令和4(2022)年10月 ・北九州市年長者研修大学校周望学舎シニアカレッジ講師（令和5(2023)年9月 ・第28回福岡県作業療法学会　地域・呼吸器セッション　座長（令和6(2024)年1月）

主な研究活動	【著書・学術論文】
	1.「高齢者慢性心不全に対す作業療法の経験」（共著）（2013.3） :(ISSN 0022-5274, 交通医学 67(1),28,2013)
	2.「当院,心臓リハビリテーションにおける作業療法 ～作業療法士が関わる心大血管の種類と特徴～」（共著）（2014.3） :(ISSN 0022-5274, 交通医学 68(1),86,2014)
	3. 「心腎連関と作業療法」（共著）（三輪書店）（2015.11） :(作業療法ルジャーナル 30(1),41-45,2015)
	4.「医療機関におけるサービス品質と顧客満足度にまつわる一考察」（共著）（2015.3） : (北九州市立大学マネジメント集 10 号:19-33,2017)
	5. 「遠隔授業に対するリメディアル教育・学修支援委員の取り組み」（共著）（2020.12） :(九州栄養福祉大学研究起要 17,1-7,2020)
	【学会発表】
	1.「手指伸筋腱皮下断裂に対する術後早期運動療法の経験」（筆頭） （第 22 回 山口県作業療法学会,山口県,2007.10）
	2.「橈骨遠異端骨折術後の伸筋腱皮下断裂のハンドセラピイ」（筆頭） （北九州ハンドセラピイ研究会, 福岡県,2008.11）
	3.「高齢者慢性心不全に対する作業療法の経験-認知症を呈する一例-」（筆頭） （第 17 回 福岡県作業療法学会,福岡県,2013.3）
	4.「dowel texture を用いた脱感作療法の１例」（共著） （第 68 回 日本交通学会,福岡県,2013.7）
	5.「急性心筋梗塞後症例に対する作業療法の経験」（筆頭） （第 35 回 九州理学療法士・作業療法士学会,熊本県,2013.11）
	6.「重複障害を有する高齢心不全に対する包括的心臓リハビリテーションの経験」（共著） （第 8 回 九州心臓リハビリテーション学会,沖縄県,2014.9）
	7.「当院における心大血管疾患作業療法の現状と課題」（筆頭） （第 49 回 日本作業療法士学会,兵庫県,2015.6）
	8.「当院における心大血管疾患作業療法の役割」（筆頭） （第 21 回 日本心臓リハビリテーション学会,福岡県,2015.7）
	9.「冠動脈バイパス術後患者に対する退院前訪問の経験」（共著） （第 21 回 日本心臓リハビリテーション学会,福岡県,2015.7）
	10.「外来型心臓リハビリテーションと入居施設の連携より再入院が予防されている高齢慢性心不全患者の症例」（共著） （第 1 回 日本心臓リハビリテーション学会九州地方会,福岡県,2015.10）
	11.「高齢者における鏡視下腱板修復術の効果」（筆頭） （第 14 回 肩の運動機能研究会,東京,2017.10）
	12.「ARCR 後に肩甲胸郭関節運動療法が有効であった一例」（共著） （第 14 回 肩の運動機能研究会,東京,2017.10）
	13.「高齢者心不全作業療法の上肢練習の有効性-食事動作の検討」（筆頭） （第 3 回 日本心臓リハビリテーション学会九州支部地方会,鹿児島,2017.3）
	14.「重複障害を呈する冠動脈バイパス術後患者に対する多職種協業での自宅退院の取り組み」（共著） （第 3 回 日本心臓リハビリテーション学会九州支部地方会,鹿児島,2017.3）
	15.「地域の医療と介護における多職種連携の現状と課題」（筆頭） （第 52 回 日本作業療法士学会,名古屋,2018.10）
	16.「ぬりえがその人らしさを取り戻す-作業選択に着目して-」（共著） （九州理学療法士・作業療法士合同学会,沖縄,2018.11）
	17.「当院健康教室における身体的フレイル有症者の実態調査」（共著） （第 5 回 日本サルコペニア・フレイル学会大会,京都,2018.11）

	18.「高齢者慢性心不全に認知症を併存する患者への作業療法介入効果」（筆頭） （第 20 回 日本認知症ケア学会,京都,2019.6）
	19.「多職種連携による健康教室でのサルコペニア・フレイル調査と関連因子の検討」（共著） （第 6 回 日本サルコペニア・フレイル学会大会,新潟,2019.11）
主な社会活動	・北九州市すこやか住宅改造助成事業　訪問診断調査員（福岡県作業療法協会派遣） （平成 31(2019)年 4 月～現在に至る）
	・北九州市地域個別ケア会議 出務 （令和元(2019)年 10 月～現在に至る）
	・社会福祉法人北九州市門司民生事業協会評議員 （令和 3(2021)年 6 月～現在に至る）
	・北九州市東部リハビリテーション連絡協議会運営委員 （令和 3(2021)年 10 月～現在に至る）
	・北九州市リハビリテーション協力機関連携会議運営委員 （令和 4(2022)年 4 月～現在に至る）
	・北九州市介護給付費等の支給に関する審査会委員 （令和 4(2022)年 7 月～現在に至る）
	・(社) 日本作業療法士学会企画委員会（学会演題査読者） （令和 6(2024)年 2 月～現在に至る）
所 属 学 会	日本作業療法士協会　（平成 14(2002)年 4 月～現在に至る） 福岡県作業療法協会　（平成 14(2002)年 4 月～現在に至る） 日本心臓リハビリテーション学会　（平成 20(2008)年 9 月～現在に至る） 日本呼吸ケア学会　（平成 25(2013)年 9 月～現在に至る） 日本認知症ケア学会　（平成 28(2016)年 4 月～現在に至る） 日本心不全学会　（令和 4(2022)年 7 月～現在に至る） 日本腎臓リハ学会　（令和 5(2023)年 4 月～現在に至る）

学校法人 東筑紫学園
九州栄養福祉大学
Kyushu Nutrition Welfare University

平澤（ヒラサワ） 勉（ツトム） HIRASAWA Tsutomu 准教授

所属	九州栄養福祉大学　リハビリテーション学部　作業療法学科
担当科目	〔リハビリテーション学部 作業療法学科〕 ・精神疾患作業療法学Ⅰ，精神疾患作業療法学Ⅱ ・職業関連支援 ・基礎作業演習Ⅰ ・基礎作業実習 ・臨床作業療法演習 ・作業療法ゼミナールⅠ，作業療法ゼミナールⅡ ・作業療法研究法 ・作業療法基礎演習 ・作業療法専門演習 ・臨床実習Ⅰ，臨床実習Ⅱ，臨床実習Ⅲ，臨床実習Ⅳ，臨床実習Ⅴ
専門分野	■ 精神障害作業療法
最終学歴	放送大学大学院　文化科学研究科 文化科学専攻 修士課程修了
学位	修士（学術）
職歴	○医療法人社団わかさ会 南八街病院　(2004年4月～2006年9月) ○医療法人社団爽風会 佐々木病院　(2006年9月～2013年3月) ○医療法人社団爽風会 心の風クリニック千葉　(2013年4月～2014年3月) ○九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 講師 (2015年4月～2021年3月) ○九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 准教授 (2021年4月～現在に至る)
教育上の業績	福岡県教育部　臨床実習指導者研修部会（2022年4月～現在に至る） 担当科目「精神疾患作業療法学Ⅱ」にて，包括型地域生活支援プログラムACTスタッフを招き，精神障害者の地域支援に関する授業を実施（2022年5月） 担当科目「精神疾患作業療法学Ⅱ」にて，精神障害者の訪問支援サービスユーザーである北九州市ピアサポーターを招き授業を実施（2024年5月）
主な研究活動	**【著書】** 『セラピストのための概説リハビリテーション 第2版』［リハビリテーションの対象疾患］精神障害 pp211-9．天満和人，奥村チカ子，爲数哲司，平澤勉，他．（2018年2月） 『改訂第2版OT臨地実習ルートマップ』臨地実習実技編「摂食障害」領域 pp209-20．菊池恵美子，斎藤佑樹，野際陽子，平澤勉，他．（2019年4月） 『精神障害作業療法入門　改訂第2版』ICFとMTDLP pp168-74．築瀬誠，大丸幸，平澤勉，他．（2020年5月） 『臨床精神科作業療法学　理論、実践、効果検証』精神科作業療法における精神療法的治療構造論：実際編 pp110-8．大丸幸，中山広宣，西村良二，平澤勉，他．（2023年4月） 『精神科リハビリテーション評価法ハンドブック』うつ性自己評価尺度（SDS），ベック抑うつ質問票（BDI-Ⅱ）pp.95-102．早坂友成，岩根達郎，森元隆文，平澤勉，他．（2023年4月） 『最新作業療法学講座 精神障害作業療法学』ICFにおける人的環境 pp.129-135．早坂友成，稲富宏之，稲垣成昭，平澤勉，他．（2025年2月） **【学術論文】** 1. 平澤勉，野際陽子：「デイケア終了後の復職を予測するものは何か?」 （作業療法 30（6）：p707-p716，2011） 2. 野際陽子，平澤勉：「うつ病復職支援デイケアの早期介入で大切なこと」 （障害者職業センター職リハ研究会発表論文集（第19回）：p283-p286，2011） 3. 平澤勉，野際陽子：「入院うつ病患者に対する作業療法の効果」 （作業療法 32（6）：p536-p546，2013）

4. 平澤勉，小川修，室井廣大，古門義弘，神﨑良子，石橋敏郎，大丸幸：
「南区キャンパスにおける学生支援会議の取り組みと課題
ー学生支援会議議事録と議題提出した教員インタビューから見えてきたものー」
（九州栄養福祉大学研究紀要　第 14 号：p219-p233，2017）
5. 大丸幸，平澤勉，田口真理，三重野利香，東和也：
「精神科病院で求められる作業療法への期待　～事例勉強会よりみえてきた作業療法士の課題～」
（九州栄養福祉大学研究紀要　第 14 号：p139-p152，2017）
6. 平澤勉：「気分障害患者に対する精神科作業療法の効果と役割は何か？ーアンケート調査による主観的効果の分析ー」
（Open Forum No.14：p30-p31，2018）
7. 大丸幸，深町晃次，小川修，平澤勉：「精神科リハビリテーションにおける保健医療福祉専門職連携　精神障害者の地域移行における他職種連携事例からの検証」
（九州栄養福祉大学研究紀要　第 15 号：p53-p62，2018）
8. 平澤勉，大丸幸，深町晃次，小川修，平池雅也：
「精神科デイケア利用者の体力，運動習慣，および作業に関するニーズの関係」
（九州栄養福祉大学研究紀要　第 16 号：p99-p114，2019）
9. 平澤勉，青山克実，深町晃次，白石泰三，溝口まどか：
「ACT スタッフの講義が作業療法学生のリカバリー志向性に与える影響」
（九州栄養福祉大学研究紀要　第 19 号：p41-p58，2022）
10. 青山克実，平澤勉，深町晃次：「機能的グループモデルに基づく学内実習の学習効果～職業的アイデンティティと自己効力感の変化～」
（九州栄養福祉大学研究紀要　第 19 号：p25-p39，2022）
11. 平澤勉，青山克実，深町晃次，松田晃二郎：「臨床実習を経験することによる作業療法学生の心理・行動的変化　-利得接近志向，損失回避志向，セルフコントロール，イン＋ターネット依存度に注目して-」
（リハビリテーション教育研究　第 30 号：p25-p30，2024）

【学会発表】
1. 平澤勉，野際陽子：「うつ病復職デイケア利用者を対象とした気分と疲労の傾向について」
第 44 回日本作業療法学会　（2010）
2. 野際陽子，平澤勉：「疲労の回復は，復職支援デイケア利用者の復職を予測するか?」
第 7 回日本疲労学会　（2011）
3. 平澤勉，野際陽子：「新しいタイプの多様な精神科患者に対し，気分や不快な思考に治療的効果のある，OT プログラムと作業遂行の質とは?」
第 45 回日本作業療法学会　（2011）
4. 野際陽子，平澤勉：「うつ病復職デイケア利用早期に何が変化すると復職できるか?」
第 45 回日本作業療法学会　（2011）
5. 野際陽子，平澤勉：「リワークデイケア早期に何が変化すると復職できるのか?」
第 18 回日本産業精神保健学会　（2011）
6. 平澤勉，野際陽子：「うつ病患者は OT の何に満足するのか?」
第 46 回日本作業療法学会　（2012）
7. 野際陽子，平澤勉：「うつ病者の回復段階に合わせた効果的な介入方法について」
第 46 回日本作業療法学会　（2012）
8. 平澤 勉，大丸幸，深町晃次，平池 雅也：「精神科デイケア利用者の運動習慣と体力および作業ニーズとの関係」九州作業療法学会 in 熊本（2021）
9. 青山克実，深町晃次，平澤勉：「学内実習における学生の作業療法実践自己効力感の変化について」第 55 回日本作業療法学会　（2021）

	10.　平澤勉，青山克実，深町晃次，松田晃二郎：「臨床実習を経験することによる作業療法学生の心理的変化 –利得接近志向，損失回避志向，セルフコントロール，インターネット依存傾向–」第57回日本作業療法学会　(2023)
主な社会活動	北九州市立年長者研修大学校講座 周望学舎シニアカレッジ 健康講話「うつ病」 (平成30(2018)年9月) 九州栄養福祉大学地域貢献事業 精神科病院デイケア利用者 健康体力測定 (平成30(2018)年11月) 九州栄養福祉大学地域貢献事業 精神科病院デイケア利用者 大学施設案内 (平成30(2018)年11月) 九州栄養福祉大学地域貢献事業 精神科病院デイケア利用者 健康体力測定 (令和元(2019)年10月) 福岡県作業療法協会　教育部　臨床実習指導者研修部会 (令和4(2022)年4月～現在に至る) 日本作業療法学会 演題査読員 (平成26(2014)年10月～現在に至る) 福岡県作業療法学会 演題査読員 (令和元 (2019)年9月～現在に至る) 九州作業療法学会 演題査読員 (令和6 (2024)年1月～現在に至る) 第27回 福岡県作業療法学会　口述発表セッションⅡ（精神障害）座長 (令和6 (2024)年1月) キャリア教育研究会「夢授業」中間東中学校　作業療法士紹介 (令和6 (2024)年2月) 第28回 福岡県作業療法学会　口述発表セッションⅠ（地域、管理運営、教育）座長 (令和6 (2024)年2月)
所　属　学　会	日本作業療法士協会（認定作業療法士）　(令和5 (2023)年～現在に至る) 福岡県作業療法協会　(平成27(2015)年～現在に至る) 日本うつ病作業療法研究会　(平成23(2011)年～現在に至る) 日本作業療法教育学会　(令和5(2023)年～現在に至る)

学校法人 東筑紫学園
九州栄養福祉大学
Kyushu Nutrition Welfare University

久保 拓哉（クボ タクヤ）　KUBO Takuya　講師

所　　属	九州栄養福祉大学　リハビリテーション学部　作業療法学科
担 当 科 目	〔リハビリテーション学部 作業療法学科〕 ・スタートアップ教育Ⅰ、スタートアップ教育Ⅱ ・作業療法ゼミナールⅠ、作業療法ゼミナールⅡ ・中枢神経疾患作業療法学 ・パラスポーツ ・身体機能作業療法評価演習Ⅱ ・日常生活活動支援 ・基礎作業実習 ・基礎作業演習Ⅱ ・高次脳機能作業療法演習 ・臨床作業療法演習 ・作業療法研究法 ・手の機能と ICT ・作業療法基礎演習 ・作業療法専門演習 ・作業療法総合研究 ・臨床実習Ⅰ、臨床実習Ⅱ、臨床実習Ⅲ、臨床実習Ⅳ、臨床実習Ⅴ
専 門 分 野	■身体障害領域における作業療法（脳血管障害） ■高次脳機能障害
最 終 学 歴	九州栄養福祉大学大学院　健康科学研究科 健康栄養学専攻　修士課程 修了
学　　位	修士（健康科学）
職　　歴	誠愛リハビリテーション病院　リハビリテーション部　（2003 年 4 月～2013 年 3 月） 誠愛リハビリテーション病院　リハビリテーション部　係長　（2013 年 4 月～2016 年 3 月） 誠愛リハビリテーション病院　リハビリテーション部　課長　（2016 年 4 月～2020 年 3 月） 山口コ・メディカル学院　作業療法学科　専任教員　（2020 年 4 月～2021 年 3 月） 山口コ・メディカル学院　作業療法学科　学科長　（2021 年 4 月～2024 年 3 月） 九州栄養福祉大学　リハビリテーション学部　作業療法学科 講師　（2024 年 4 月～現在に至る）
教育上の業績	○西九州大学　非常勤講師「高次脳機能障害作業療法学」担当　2012 年 ○山口コ・メディカル学院　非常勤講師「高次脳機能障害の作業療法」担当　2013 年～2019 年
主な研究活動	【学術論文】 **1.「観察でわかる半側空間無視」（共著）** 渕 雅子、木下美智子、久保拓哉（リハビリナース第 3 巻 3 号　2010.5） （概要）看護師向けに半側空間無視の看護介入のポイントを解説．日常生活場面を観察することの意義，基本的な観察の視点，実際の活動での観察の視点，介入による観察を掲載． **2.右前頭頭頂葉損傷により空間認知の障害を呈した症例への評価と治療（共著）** 久保拓哉、渕 雅子（ボバースジャーナル第 38 巻 1 号　2015.6） （概要）特集テーマ「身体図式と姿勢制御機構」にて，身体図式の障害を呈する脳卒中片麻痺患者に対しての評価と介入を，神経生理学的考察を加え掲載．身体図式の障害に対し，姿勢変換を通して体性感覚間統合を図った．また，視覚を伴う課題やダイナミックなバランス課題を通して視覚や前庭，体性感覚の異種感覚間統合を図ることで，症例の身体図式の再構築に有効であったと考えた． **3.脳卒中片麻痺患者における上肢機能回復と脳活動の関連性について** （修士論文）九州栄養福祉大学大学院 健康科学研究科 健康栄養学専攻（2021.2） （概要）脳卒中片麻痺患者の麻痺側上肢機能の回復に対し，行動評価と fNIRS による脳活動評価を経時的に実施し，その関連性を明らかとすることを目的とした．対象患者 3 名すべて行動評価が向上し，上肢機能の回復を認めた．脳活動評価では，回復初期に両側が働き，回復の後に損傷側が働く結果となり先行研究と一致した．また，我々が新しく導入した行動

評価と脳活動評価の関連において，脳活動と高い相関を認めた行動評価は上肢機能回復の有効な評価になり得ると考えられた.

【学会発表】

1.条件の違いによるワーキングメモリ課題の前頭葉活動の検討 - fNIRS を用いた研究 -
第 46 回日本作業療法学会（2012.6）
久保拓哉、中畑頼枝、石川亮宏、渕 雅子

2.視覚に基づく運動と記憶に基づく運動における前頭葉活動の検討 - fNIRS による研究 -
第 46 回日本作業療法学会（2012.6）
中畑頼枝、久保拓哉、石川亮宏、渕 雅子

3.両側視床・後頭葉内側の損傷により記憶障害を主とした高次脳機能障害を呈した症例に対する作業療法介入
第 47 回日本作業療法学会（2013.6）
中畑頼枝、久保拓哉、渕 雅子

4.操作手の違いによるワーキングメモリ課題時の前頭葉活動の検討 - fNIRS を用いた研究 -
第 37 回日本高次脳機能障害学会学術総会（2013.11）
久保拓哉、中畑頼枝、渕 雅子

5.手指運動を用いたワーキングメモリ課題の施行過程における前頭葉活動変化と運動学習について - 操作手の違いによる考察を加えて -
第 49 回日本作業療法学会（2015.6）
久保拓哉、渕 雅子

6.鏡を用いた運動錯覚の生成における脳内活動の fNIRS による解析
第 50 回日本作業療法学会（2016.9）
渕 雅子、久保拓哉、佐野文香、松下 航、石川亮宏

7.脳卒中片麻痺患者における上肢機能回復と脳活動変化について
- 近赤外光イメージング装置（fNIRS）を用いて -
第 51 回日本作業療法学会（2017.9）
久保拓哉、松下 航、渕 雅子

8.同名半盲を合併し視知覚・視空間認知障害を認めた症例に対しての体性感覚情報を活用した介入の検討
第 42 回日本高次脳機能障害学会学術総会（2018.12）
久保拓哉、小柳ちひろ、渕 雅子

9.リハビリマネジメントカンファレンスによるリハスタッフ教育が回復期リハビリテーション病棟利用者への目標設定および機能的自立度改善に及ぼす影響
回復期リハビリテーション病棟協会 第 33 回研究大会（2019.2）
大田瑞穂、森下祐介、久保拓哉、新本憲治、渕 雅子

10.半側空間無視患者に対するミラーセラピーによる半側空間無視症状改善の効果検証
第 1 回九州作業療法学会（2019.6）
金澤省吾、小柳ちひろ、中村竜一、久保拓哉、渕 雅子

11.左中大脳動脈領域の脳梗塞により失行を呈した症例に対する作業療法介入
- 入浴場面で段階的に実施したアプローチ -
第 1 回九州作業療法学会（2019.6）
中村竜一、久保拓哉、渕 雅子

12.臨床研究法下での手指リハビリテーションロボット“SMOVE”の臨床研究の開始
第 78 回日本脳神経外科学会学術総会（2019.10）
迎伸孝、荒田純平、鍵山智子、久保拓哉、船越公太、高木文、渡邊広子、坂梨健二、村上奈美、長尾敏彦、井林雪郎、飯原弘二

13.当院回復期リハビリテーション病棟における早遅介入の実態調査
- 職種間・経験年数による比較分析 -
リハビリテーション・ケア合同研究大会（2019.11）
新本憲治，大田瑞穂，古江伸志，金古香利，森下祐介，久保拓哉

	14.fNIRS を用いた運動錯覚の脳内活動の分析 - 錯覚生成方法の違いに着目して - 第 54 回日本作業療法学会（2020.9） 渕 雅子、金澤省吾、中村竜一、小柳ちひろ、久保拓哉
	15.高次脳機能障害により病識低下を伴った患者の職業準備訓練について **- 自己分析シートを用いて行動変容に繋がった一症例 -** 第 54 回日本作業療法学会（2020.9） 田代裕太、堀 航貴、久保拓哉、渕 雅子
	16.脳卒中片麻痺患者の上肢機能回復と脳活動の経時的な関連性について 第 12 回日本ニューロリハビリテーション学会（2021.5） 久保拓哉、渕 雅子
	17.脳卒中片麻痺患者における上肢機能回復と脳活動の関連性について 第 55 回日本作業療法学会（2021.9） 久保拓哉、中村竜一、金澤省吾、渕 雅子
主な社会活動	・日本作業療法士協会 認定作業療法士取得講座　助手　（2011 年～2015 年） ・鹿児島在宅復帰・生活継続支援研修会　講師　（2012 年 3 月） 「高次脳機能障害患者の ADL に対する観察と対処法」 ・山口県作業療法士会 SIG　講師　（2013 年 2 月） 「高次脳機能障害の評価と治療」 ・公益社団法人福岡県病院協会主催リハビリテーション研修会　シンポジスト　（2019 年 10 月） 「リハビリ診療技術 最新機器導入における課題と対応」 ・誠愛リハビリテーション病院　高次脳機能障害研修会講師　（2010 年～2019 年、2021 年） ・山口県作業療法士会　教育部委員　（2020 年～2024 年 3 月） ・山口市介護予防出張講座　講師　（2022 年～2023 年） ・福岡県士会北九州ブロック研修会　講師　（2024 年 11 月） 「高次脳機能障害における評価、介入の臨床推論」 ・北九州市地域ケア個別会議アドバイザー　（2024 年～現在に至る） ・福岡 OT 高次脳機能研究会 SIG　世話人　（2024 年～現在に至る） ・日本作業療法学会　演題審査員　（2018 年～現在に至る）
所 属 学 会	日本作業療法士協会 日本ボバース研究会 日本高次脳機能障害学会 日本パラスポーツ協会 日本ニューロリハビリテーション学会
受　賞　歴	第 78 回日本脳神経外科学会総会　優秀演題賞（共同筆者）　（2019 年 10 月）